

— 目次 —

- “日本一安心して暮らせる地域”をめざして
- 地域医療連携
- PICK UP!
- 研修・セミナーのご案内
- 地域連携室より

“日本一安心して暮らせる地域”をめざして

地域連携室長 鈴木 朱実



平素より暖かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2025年には、団塊の世代が後期高齢者に移行し高齢化率も30%を超え、疾病や要介護状態にある高齢者数も増加すると予測されています。急激な高齢化に対応するために2013年には、社会保障制度改革国民会議報告書により「病院完結型医療から地域完結型医療へのシフト」が示され、社会全体が地域完結型医療の実現に向け動いています。地域全体で医療の質の向上と効率化を図り、限られた医療資源（施設、設備、人材など）を最大限に活用するために、今まで以上に地域医療連携が重要となります。当院は、在宅医療を担われる医師、歯科医師の皆様をはじめ薬剤師、看護師、リハビリ関係職種、介護職者など多職種の方々と協働し、“日本一安心して暮らせる地域”をめざしていきたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

糖尿病患者のフットケアと病診連携について

内分泌・代謝内科 部長 水野 達央

糖尿病壊疽による下肢切断は過去の出来事でしょうか。なんと、これらの糖尿病足病変はむしろ増加していると考えられています。医学はもちろん、栄養・衛生面がこれだけ進歩していて、なぜなくなるのでしょうか。

糖尿病足病変は、神経障害(感覚、運動、自律)を中心に複合的な要因で発症します(図)。糖尿病やその他の疾患に対する治療が進歩したことで寿命が延び、高齢で病歴の長いハイリスク患者が増えているのが現状です。

ハイリスク患者とは

- ①罹病期間が長い、②男性、③血糖コントロール不良、④末梢神経障害、網膜症、腎症合併、⑤末梢循環障害合併、⑥足潰瘍や切断の既往、⑦足変形、⑧足部関節可動域制限、⑨胼胝、鶏眼、⑩爪変形 など

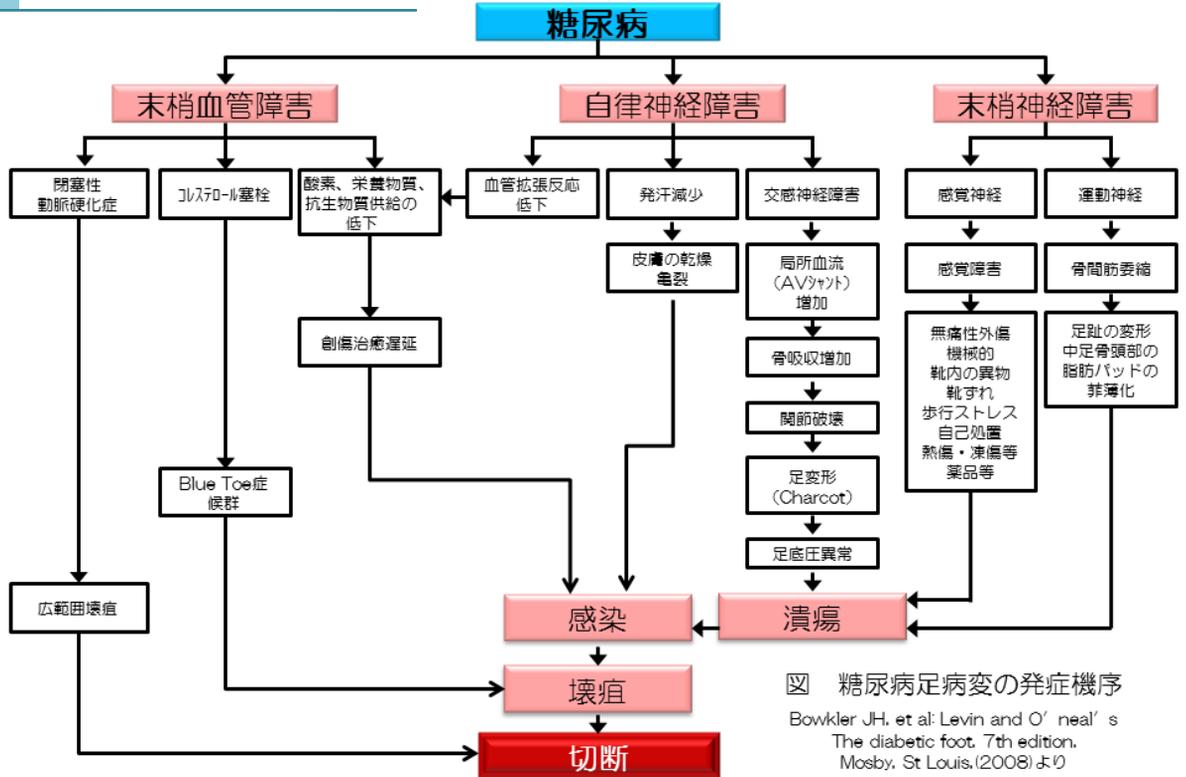


図 糖尿病足病変の発症機序
Bowker JH, et al: Levin and O'Neal's The diabetic foot, 7th edition. Mosby, St Louis, (2008) より

フットケア外来のご案内

糖尿病足病変の診療には糖尿病内科、皮膚科、整形外科、循環器科などの医師に加え、看護師、義肢装具士、理学療法士、薬剤師、管理栄養士などのチーム医療が欠かせませんが、予防を目的としたフットケア(表)が最も重要です。

当院でも専門の資格を有する看護師が「フットケア外来」を開設し、フットケアの実施、啓発、教育を行っています。ハイリスク患者さんに有効ですので是非ご利用ください。ご利用の際は、当院の内科医師からの指示書が必要ですので、紹介状に「フットケア希望」とご記入いただき、内分泌・代謝内科へご紹介ください。診察によりフォローアップが必要と判断しましたら、次回の受診方法をご案内します。

今は患者さんを取り巻く家族、企業、診療所、介護に携わる方も含めた、地域全体でのチーム医療が重要とされる時代です。これから患者さんの足を守るための活動を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

表 フットケア患者教育要点

1. 禁煙
2. 毎日、足を観察(趾間部)
3. 毎日足を洗い、乾燥させる(特に趾間部)
4. 風呂の湯の温度に注意する(温度計使用)
5. 電気毛布、コタツは使用しない
6. 裸足で歩いたり、靴下なしで靴をはかない
7. 鶏眼、胼胝の治療に化学薬品を使わない
8. 毎日、靴の中を点検する
9. 視力障害があれば、家族が足の点検、爪切りをする
10. 皮膚が乾燥している場合は保湿クリーム等を使用する(趾間部には使用しない)
11. 足に合った縫い目のない靴下をはく
12. 足型に合った靴を選ぶ
13. 爪は一直線に切り、深く切り込まない
14. 胼胝、鶏眼は自分で切らない
15. 定期的に通院し足を診てもらおう
16. 足に外傷、水疱等が出現したら直ちに受診する

日本糖尿病学会編：糖尿病専門医研修ガイドブック第4版(2009)より

フットケア外来お問い合わせ先

刈谷豊田総合病院
内科外来 0566-25-8010

東分院
外来 0566-62-5120

高浜分院
内科外来 0566-52-8535

◆ PICK UP ! ◆

地域の検査センターを目指して



放射線技術科では、**地域の検査センター**を目指して活動しています。今回は主な活動内容と委託検査紹介の現状と推移について、ご報告させていただきます。

◇主な活動内容

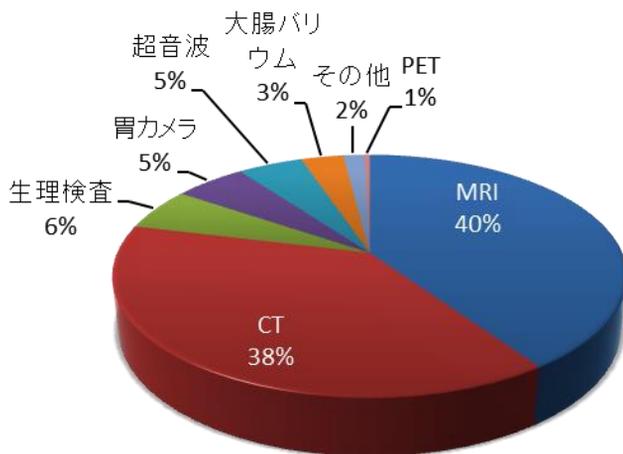
- ①放射線検査だよりの定期配信
- ②放射線科医師との訪問活動
- ③連携医療機関からの直接予約取得
- ④当日の検査予約
- ⑤当日の検査レポート作成

◇当院の委託検査の特徴◇

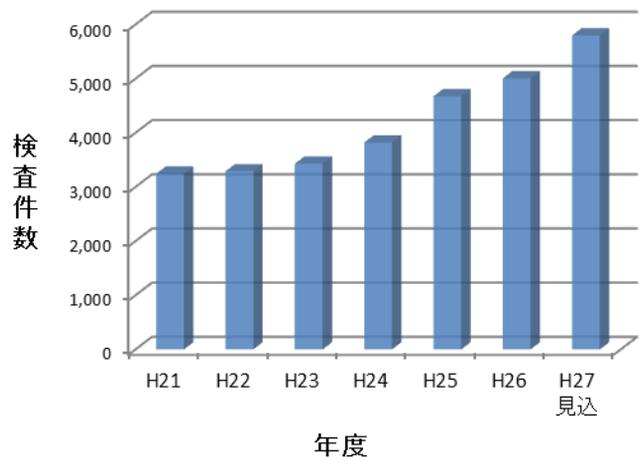
当日でも検査の予約が可能です。
ほとんどの検査は、当日中に検査レポートを作成しています。

委託検査紹介の推移と現状

H27年度_委託検査の内訳



年度別_委託検査件数の推移



○委託検査総件数は、年々増加しています。

○委託検査の内訳では、CT検査およびMRI検査が全体の約8割を占めています。

依頼の多い検査(内訳)

CT検査

1	CT 胸部	740件
2	CT 上・下腹部	349件
3	CT 上腹部	164件
4	CT 脳	133件
5	CT 胸-腹部	102件

MRI検査

1	MR 腰椎	485件
2	MR 大脳小脳+MRA	384件
3	MR 頸椎	199件
4	MR 大脳・小脳	178件
5	MR 膝関節	119件

◇放射線検査室より◇

日頃からたくさんの検査紹介ありがとうございます。

上記活動を通じて、地域の連携医療機関との繋がりを大切に“**地域の検査センター**”でありたいと考えております。

今後もよりいっそう、ご活用いただけますようお願い致します。

研修・セミナーのご案内

在宅呼吸ケア地域連携の会

肺機能が弱い患者さんや在宅酸素療法を行っている患者さんのよりよい在宅ケアサービスが多職種で提供できるよう地域連携を進めていくための会

【日時】 平成28年 2月27日(土) 午前10時～12時
【会場】 診療棟5階 第1・2会議室
【対象者】 在宅呼吸ケアに関わる医療・介護スタッフ
【問い合わせ】 0566-25-8304 <地域連携室>

がん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会(PEACE project)

がん診療に携わる2次医療圏内の医師を対象に、緩和ケアの基本事項について、講義・グループワーク・ロールプレイの3つの形式で研修します。(2日間の修了者には厚生労働省の修了証が発行されます)

【日時】 第1回 平成27年11月22日(日)・23日(月・祝) いずれも午前9時～午後5時
第2回 平成28年 2月27日(土)・28日(日) いずれも午前9時～午後5時
【会場】 診療棟5階 第3会議室(27日AM)
診療棟5階 第1・2会議室(27日PM、28日終日)
【対象者】 がん診療に携わる2次医療圏内の医師(各回定員24名)
第1回は終了。第2回は今後ホームページなどで募集予定。

刈谷連携キャンパス(KRC)

【テーマ】 「高齢者糖尿病をケアする」
【日時】 平成28年 3月 5日(土) 午後2時30分～4時
【会場】 診療棟5階 第1・2会議室
【対象者】 医療・介護・福祉関係者
【問い合わせ】 0566-25-8025 <リハビリテーション科>

訪問看護呼吸ケア勉強会

肺機能が低い患者さんや在宅酸素療法を行っている患者さんのより良い訪問看護ケアのための勉強会

【日時】 平成28年 4月 1日(金) 午後6時～7時
【会場】 診療棟5階 第3会議室(予定)
【対象者】 主に在宅呼吸ケアに関わる訪問看護ステーションスタッフ
【問い合わせ】 0566-25-8304 <地域連携室>

在宅医療推進のための多職種研修連携

【テーマ】 (仮)急性期病院と在宅医療現場の連携(勇美記念財団助成による研修)
【日時】 平成28年 5月21日(土) 午後2時30分～5時
【会場】 診療棟5階 研修センター
【対象者】 医療・介護に従事する全職種
【問い合わせ】 0566-25-8304 <地域連携室>

地域連携室より

当院では、地域の医療関係機関とさらに連携を深めるため、登録施設制度をはじめました。

すでに近隣の医療関係機関にはご案内をさせていただき、多くの施設からご登録の申し出をいただいております。

医療圏域外からでも登録は可能ですので、地域連携室までお問い合わせください。申し込みは随時受付しております。

(申込書類はホームページからもダウンロードできます)

「地連ほっとLINE」は、皆さまと共に作る広報誌です。

ご意見・ご投稿をお待ちしています。

